

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：木津川市

プロジェクト名	命とくらしを守るプロジェクト		実施期間	平成27年度～平成30年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市においては、木津川が市内を貫いて流れているため、木津川の増水対策や支流の内水対策が必要不可欠な課題となっている。そのため、今年度は水害対策に重点を置き、排水ポンプ車や排水ポンプユニットを購入し内水対策強化を図るとともに、小川における排水施設整備や旧反田川への逆流防止装置設置などを行うものである。</p> <p>さらに、人口増加が続く中、様々な立場の市民が皆安全・安心して暮らしていけるまちづくりも急務となっているため、市民の日常生活における安心・安全を守る施策を展開する必要がある。そこで、犯罪発生抑止のための防犯対策をはじめ、関連事業においては、教育施設等における環境整備や、だれもがいつでも閲覧できるホームページ作りなどを行うものである。また、府からの委託事業である災害に強い森づくり事業や、市民協働による自主防災組織育成充実事業などにより、関係組織との連携を強め効果的に災害対応力の強化を推進することで、相乗効果を図るものを計上している。</p> <p>以上のとおり本プロジェクト4年目に当たる今年度は、水害対策や防犯対策、また小中学校プールろ過装置更新などのくらしの安心・安全事業を大きな柱として、まちの安心・安全に資する事業を推進していくものである。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>市民の共通のニーズである水害に係る自然災害対策と様々な立場の市民のニーズを勘案した防犯対策を組み合わせることにより、あらゆる世代の様々な立場の市民にとって安心・安全なまちづくりを推し進める。</p>							
	総事業費（千円）	687,494	本年度事業費（千円）	299,895	交付金額（千円）	45,463		

プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績（出来高数値等）

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村実施事業	水害に対する防災・減災事業			
	排水ポンプユニット・排水ポンプ車購入経費	交付対象	内水対策強化のため、排水ポンプユニット及び排水ポンプ車を購入する。	排水ポンプユニット及び排水ポンプ車を購入し、木津川増水時における内水対策を推進した。
	排水施設改修経費	交付対象	小川への排水施設改修のための測量設計を行う。	木津小学校北西方向の小川への排水施設改修に向けた取り組みを進めた。
	旧反田川への逆流防止装置設置経費	交付対象	旧反田川に逆流防止装置を設置する。	旧反田川に逆流防止装置を設置し、家屋浸水被害の防災・減災対策を推進した。
	河川等監視システム運用開始経費	交付対象	平成28～29年度に設置され、試用期間が終了した河川監視カメラの運用を開始する。	リアルタイムで河川を監視することで、木津川増水時における災害対応に効果を発揮した。
	反田川伏越樋門補修及び転落防止柵改良、照明設備設置経費	交付対象	反田川伏越樋門における下流側のゲート点検・整備及び転落防止柵の改良、また排水ポンプ投入先と作業ヤードを照らす照明灯を設置する。	反田川伏越樋門における下流側のゲート点検・整備工事の実施及び整備及び転落防止柵の改良工事を実施した。また照明灯の設置により、台風接近時等の排水ポンプ設置や樋門操作を安全に行うことができた。
	I P無線機増設経費	交付対象	河川増水時など災害警戒・対策作業時の通信手段の確保を目的として、I P無線機を購入する。	I P無線機の購入により、災害警戒・対策作業時に的確な指揮命令の伝達手段として効果を発揮した。
	木津川ハザードマップ更新経費	交付対象	府管理河川の浸水区域の見直しに伴い、ハザードマップを更新する。	ハザードマップを市ホームページで公開し、市民が災害時に適切な行動を取ることが出来るよう情報提供を行った。
	宅内排水用ポンプ購入経費	交付対象	浸水被害を受けた家屋に対して貸出を行うため、宅内排水用ポンプを購入する。	宅内排水用ポンプの購入により、木津川増水時における内水対策を推進した。
	防犯対策事業			
	市内防犯灯LED照明導入経費	交付対象	7,640灯の防犯灯をLED化する。	二酸化炭素や消費電力を削減できただけでなく、安心安全なまちづくりを推進した。
	駅前駐輪場及び地元要望か所への防犯カメラ設置経費	交付対象	J R 棚倉駅前駐輪場に防犯カメラを設置するとともに、警察や地元からの設置要望に基づき、防犯カメラを設置する。	J R 棚倉駅前駐輪場の南側駐輪場と北側駐輪場に各2台設置、また旧木津町域、旧加茂町域、旧山城町域の要望か所に各1台設置し、防犯対策の強化を図った。
	くらしの安心・安全事業			
	小中学校プールろ過装置更新及び貯水槽等改修経費	交付対象	小中学校において老朽化したプールろ過装置及び貯水槽等の更新などを行う。	プールろ過装置やプール棟の外壁修繕を行った。（木津川台小学校、加茂小学校、恭仁小学校、木津小学校、高の原小学校、梅美台小学校、木津中学校、木津第二中学校の） 貯水槽や揚水ポンプ等の更新・修繕を行った。（相楽小学校、高の原小学校、加茂小学校、泉川中学校、山城中学校）
	小学校校舎等改修及び消防設備改修経費	交付対象	小学校の雨漏り箇所の修繕、消防設備の改修を行う。	相楽小学校、南加茂台小学校、木津川台小学校、梅美台小学校の雨漏り修繕、木津小学校の非常階段の修繕などを行った。また、法定点検結果に基づき、消防設備の修繕を行い、施設の保全と適正管理を図った。
幼稚園園舎等改修経費	交付対象	高の原幼稚園の給食配膳室の改修工事、木津幼稚園の正門門扉の修繕工事を行う。	高の原幼稚園の給食配膳室前の沈下部分の改修、木津幼稚園の正門門扉の修繕工事を行い、施設の保全と適正管理を図った。	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：木津川市

	保育所設備改修灯経費	交付対象	やましろ保育園のプール改修、木津川台保育園のエアコン取替工事を行う。	やましろ保育園のプール改修、木津川台保育園のエアコン取替工事を行い、施設の保全と適正管理を図った。	
	社会教育施設空調設備改修経費	交付対象	指定避難所である青少年センターなどの老朽化した空調設備を更新する。	指定避難所である青少年センター1階ふれあい室、当尾の郷会館会議室の空調設備を更新、また加茂文化センターの吸収式冷温水機発生装置の改修、やすらぎタウン山城プールの2階観覧席、玄関ホールの空調設備を更新し、施設の保全と適正管理を図った。	
	その他社会教育施設設備改修経費	交付対象	青少年センターの雨漏り修繕や加茂文化センターの加圧給水ポンプの漏水修繕などを行う。	青少年センターの雨漏り修繕や加茂文化センターの加圧給水ポンプの漏水修繕を行い、施設の保全と適正管理を図った。	
	テニスコート人工芝全面改修経費	交付対象	劣化した不動川公園テニスコート人工芝の全面改修を行う。	部分修繕で対応してきたが、全体の劣化が激しいことから、利用者の安全確保のため全面修繕を実施した。	
	だれもがいつでも閲覧できるホームページの構築経費	交付対象	だれも見やすいホームページに更新するとともに、スマートフォンやタブレット端末からでも閲覧しやすいデザインに変更する。	記事読み上げ機能に対応するなど、アクセシビリティ認証取得に加え、スマートフォンなどから災害情報や避難情報を入力できるようデザインを変更した。	
防災行動啓発業					
	「我が家の防災行動」啓発チラシ作成経費	交付対象	地震、水害、土砂災害の発生に備え、いざという時に取るべき行動を記載した啓発チラシを作成、各戸配布を行う。	「我が家の防災行動」啓発チラシを各戸配布し、周知することにより危機管理意識の醸成を図った。	
住民協働事業	自主防災組織育成充実事業	関連事業	住民による自主防災組織の日常訓練や防災知識の啓発活動等を支援し、住民が主体となった災害に強いまちづくりを推進する。	自主防災組織への活動助成金や研修参加負担金を支出し、住民が主体となった災害に強いまちづくりの推進を図った。	
成果指標①	成果指標の目標数値	自主防災組織の活動数 平成29年度：285回/年 → 平成30年度：増加		成果指標の実績値 (平成31年3月末時点)	370回/年
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	自主防災活動への支援や協働により、自主防災組織の活動数が増加したため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	ホームページアクセス数 平成29年度：3,185,827件/年 → 平成30年度：増加		成果指標の実績値 (平成31年3月末時点)	5,179,446件/年
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	記事読み上げ機能に対応や、スマートフォンなどから災害情報や避難情報を入力できるようデザインを変更したため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>内水対策の強化や施設の耐震改修、備蓄倉庫の整備、指定避難所となる公共施設の改修、ハザードマップ作製など、ハード・ソフト両面からの防災対策を着実に進めた。さらに、東中央線関連市道改良工事や通学路グリーンライン舗装といった交通安全事業や、テニスコート人工芝の全面張替えや教育施設受電設備改修などにより、あらゆる世代にとって安心・安全なまちづくりを進めることができた。</p> <p>成果指標においては、市内小中学生の交通事故件数が前年度よりやや増加したが、引き続き通学路における安全の確保に努める。また、既存の自主防災組織の活動数は目標以上に活発であることから、今後も自主防災組織の新規結成を支援していくことにより、自主防災組織加入世帯率の上昇が見込まれる。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応策についても記載すること。</p>				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	市民協働による自主防災組織育成充実事業などにより、関係組織との連携を強め効果的に災害対応力の強化を推進することにより、相乗効果を図る。			
	住民の自治意識を高める成果	自主防災組織による自発的な防災活動等を通じて、家族や地域、社会とのつながりや絆、相互の助け合いといった市民の共助の意識や日常的な危機管理意識から来る自助の意識の高揚を図る。			
	広域的波及成果	市内の防災対策の強化により、災害時の市内の被害を軽減することができ、緊急時の近隣市町村への応援協力体制や連携強化につながる。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：木津川市

プロジェクト名	「木津川市文化」創造プロジェクト		実施期間	平成27年度～平成30年度	テーマ	文化創造	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本市においては、ニュータウンにて子育て世代を中心に人口が年々増加しているが、山間部や旧市街地は少子高齢化が見られる上、人口の流出もあり、地域の活性化に取り組む必要がある。</p> <p>そのため、木津川市「まち・ひと・しごと創生総合戦略」による、豊かな自然や歴史・文化遺産、農産物などを活かした魅力と活力があり、将来にわたって長く愛されるまちづくりを進めるとともに、地域住民が自分たちの住む市の魅力を再確認し、守り育て、情報発信することが不可欠である。</p> <p>そこで、前年度に引き続き瓶原地域に着目することとし、今年度は、変則交差点である海住山寺口の整備やくにのみや学習館屋外トイレ設置などにより、瓶原への訪問者の安全性や利便性などの向上を図るとともに、地域住民との協働によって環境整備等を行い、市の魅力を市内外に発信するものである。</p> <p>そのほか、木津川市メインパンフレットの多言語オールインワンパンフレットへの改訂や、明治150周年・大仏鉄道120周年イベント開催、「きづがわいい応援団」などによる魅力発信、また「お茶の京都」ターゲットイヤーであった前年度に引き続き、お茶の京都DMOによる幅広い観光地域づくり関連組織との連携を図り、お茶の京都博の取組みを活かした地域全体の効果的な情報発信やワンストップ窓口を推進するものである。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>市域全体の均衡ある発展のため、各地域のもつ特色を活かし、観光誘客による交流人口の増加と地域活性化を図る。</p>							
	総事業費（千円）	108,434	本年度事業費（千円）	33,574	交付金額（千円）	15,524		
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	「みかのはら」からの発信事業							
	海住山寺口の変則交差点整備経費	交付対象	海住山寺口交差点の形状が変則であるため、府実施の国道163号道路改良工事にあわせ、市道部分の建物移転補償等を行う。			海住山寺口の変則交差点を整備することにより、観光客の利便性向上を図った。		
	くにのみや学習館屋外トイレ設置及び恭仁宮パンフレット改訂経費	交付対象	史跡恭仁宮跡への来訪者数の増加に伴い、老朽化した仮設トイレを撤去し、新たにユニットトイレを設置する。また、平成27年度に作成した恭仁宮パンフレットを改訂する。			くにのみや学習館屋外トイレを設置することにより、施設利用者及び観光客の利便性向上を図った。また、恭仁宮パンフレットを改訂し、観光PRを実施した。		
	観光PR・おもてなし事業							
	木津川市メインパンフレットの更新経費	交付対象	海外からの観光客の増加に対応するため、アプリによる音声配信機能を付加した多言語対応パンフレットを作成する。			木津川市メインパンフレットを多言語対応することにより、観光入込客数の増加を図った。		
	史跡鹿背山瓦窯跡への転落防止柵設置経費	交付対象	史跡鹿背山瓦窯跡内の工事用バリケードで仕切られている箇所について、バリケードを撤去し転落防止柵を設置する。			転落防止柵を設置し、来訪者の安全性を確保した。		
	「当尾の郷会館CREATION PROJECT」	交付対象	当尾の郷会館の利活用のため、アート作家の作品制作の場として提供し、「当尾の郷会館CREATION PROJECT」に取り組む。			アート作家による作品の展示会などを通して、地域住民との交流を図ることにより、地域活性化に取り組んだ。		
	「きづがわいい応援団」による魅力発信経費	交付対象	木津川市にゆかりのある著名人などに本市の魅力発信やイメージアップにつながる活動を担ってもらい「きづがわいい応援団」事業を実施する。			市内でのイベントに参加していただいたり、SNSによる魅力発信により、市のイメージアップ・情報発信などに効果があった。		
	文化財の保全と顕彰事業							
	文化財調査整理用資機材整備及び文化財保護啓発経費	交付対象	文化財の調査整理用として、パソコンメモリの増設や出土鉄製品保管用防湿庫を購入する。また、市役所展示スペースを利用した文化財保護啓発のための展示やギャラリートークを実施する。			市内にある文化財を適正に調査・保管を行うことができ、文化財保護の啓発活動に効果があった。		
住民 協働 事業	住民協働環境整備経費	交付対象	恭仁宮跡の住民協働による環境維持活動を行う。			住民協働による恭仁宮跡内の草刈作業やコスモス等花栽培による環境維持活動を行った。		
	南山城古寺巡礼秘宝バスツアー開催経費	交付対象	南山城古寺の会による古寺巡礼バスツアーを開催する。			南山城古寺の会が実施するバスツアーに対する補助を行い、市民とともに観光PRを実施した。		
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	観光客人込客数（海住山寺、史跡恭仁宮跡） 平成29年（9月～11月）：10,955人 → 平成30年同期：増加		成果指標の実績値 （平成31年3月末時点）	11,625人			
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	本プロジェクトにより観光客が増加したため				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）				（時期）	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：木津川市

成果指標②	成果指標の目標数値	木津川アート2016来客数：11,822人 → 木津川アート2018来客数：増加		成果指標の実績値 (○年○月○日時点)	14,872人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	本プロジェクトにより観光客が増加したため	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>木津川アートや「お茶の京都」関連イベントの開催による魅力の情報発信を行うとともに、恭仁宮跡散策ルートの舗装改良の実施や地域住民による環境整備により、瓶原地域に着目した事業などにより、観光客の利便性及び注目度が向上し地域活性化に寄与した。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	観光地域づくり関連組織との連携をはじめ、地域住民との協働により、市の魅力を市内外に発信する木津川アートの取組みや、恭仁宮跡の環境整備活動などにより、地域活動の一層の振興や本市全体の活性化、個性を生かした魅力ある地域文化の創造を図る。			
	府と市町村等との連携に資する成果	府内市町村との連携による観光地域づくりなどにより、効果的な情報発信や関係市町との相乗効果を図る。また、恭仁宮跡は史跡指定範囲の拡大や宮域の調査などを府と連携して進めており、高麗寺跡は近隣の府山城郷土資料館と連携して歴史学習や歴史体験の場として活用することができる。			
	住民の自治意識を高める成果	住民協働による恭仁宮跡の管理や顕彰活動、環境保全活動、木津川アートにおける市内外への魅力発信などにより、子どもから大人まで自分たちの住む木津川市の魅力の発見や再認識をすることとなり、より魅力と活力のあるまちづくりにつながる。			
	広域的波及成果	木津川市の魅力を国内外に伝えるため、市内での様々なイベントや市外でのPR活動を実施するとともに、市内の観光地を整備し、本市知名度の向上及び観光誘客を図った。			
	その他の成果	史跡の管理運営を住民との協働事業とし、地域の誇りや愛着心を醸成するとともに、管理経費を抑制することができた。			